

母から母へ、想いをつなぐ

個別志導のサクセス 副塾長 近藤友紀

高校合格、おめでとうございます。
合格の言葉を聞き、私もやっ
ホッとできました。

塾講師で15年間、今年ほど「合格」を待ち焦がれたことはありませんでした。実は私も娘が中3。皆さんと同じく母として受験真っ只中でしたから、本当の意味で「合格」を望む気持ちが実感できました。

この時期いくら私立推薦入試とは言え、子どもたちにとって、ここに至るまでの努力や悩みは、決して楽なものではありませんでした。中一から学習計画しコツコツと学んできたつもりでも中二下行き詰まり、ふて腐れ、それでも「信じてるからね」と励ましながら

進んできました。申三になると勉強スタイルが確立してきたので、親に依存することもなくなりました。そして、二学期にはそれまでで一番良い成績を叩き出すことができました。

そして、念願の志望校へ合格！

彼女に言いました。「合格おめでとう。あなたはよく頑張ったよ。ここまでの道のりを素直にほめてあげたい」と。

皆さんはお子さんの合格までの足跡を見て、どんな思いがよぎるでしょうか。「まだまだやれるはず」と思われる方もいらっしゃるでしょう。でも、彼らなりに一つの大きな山を越えたのです。

ここは是非、労いの言葉をかけてあげてください。

そして、私からはお母さん方へ労いです。

子育ては誰もが初めての経験で、育て方はそれぞれ。

お母さん、本当にがんばって、踏んばって、ここまで育てられましたね。
同じ立場の私は、これからもっと皆さんの気持ちに寄り添って
いきたい。そう強く感じています。

そして、合格した娘を見て思ったこと。公立高校受験の生徒さんは、
ここから必死の追い上げでラストスパート。あと二ヶ月、本当に必死です。
一方、我が娘含め合格を手にした私立推薦組はこの二ヶ月を
どうするのでしょうか？一時の喜びと休息は要るでしょう。

でも、残りの時間をどう過ごすかで高校生活のスタートの質が大きく左右される。これは先輩の姿を見れば明らかです。

娘の次の目標は、その高校でトップでなければならぬ大学です。今から気を抜くわけにはいきません。

「もう今から、それを目指して一歩ずつやっていく」と、昨日約束をしたところです。

皆さんのお子さんも同じだと思います。高校合格はゴールではありません。高校進学した以上は、進学、就職問わず、そこで上位を取らなければ次のステップアップはありません。

ですから、私からのお願いです。

大切なお子さん、手塩にかけて塾生を、一年生の一学期の間だけでも面倒を見させてほしいのです。何とか軌道にのる姿を見たいのです。

高校はとにかく今からのスタートが先を左右します。

サクセスなら親身な先生がいて何でも相談できます。自分の経験を活かし、本気でお子さんの新たな高校生活を支えてくれます。日程等のご相談もお受けしていますし、フリータイムで通いやすい授業料もご提案しています。

どうか今一度ご検討よろしくお願いいたします。ご相談はいつでもお受けいたします。

近藤用箋

個別志導のサクセス 〇五六四一五四一八七七二